

参考資料

平成29年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
警 察 本 部

新規事業及び重要事業総括表

総 額

【一般会計】

区分	平成29年度	平成28年度	伸び率
予算総額	146,882,695千円	143,978,378千円	2.0%
一般会計構成比	7.9%	7.7%	-

主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

1 暮らしの安心・安全を確保する

(1) 防犯対策の推進と捜査活動の強化

P 1	新規 警察官の増員【警務課】	153,068
P 2	朝霞警察署庁舎建設費【施設課】	159,976
P 3	交番、駐在所建設費【施設課】 (債務負担行為)	6,965 (限度額 180,341)
P 4	一部新規 刑事警察費【刑事総務課】	1,258,804

(2) 交通安全対策の推進

P 5	新規 運転免許証更新時の高齢者講習の受け入れ枠の拡大【運転免許課】	66,194
P 6	一部新規 交通安全施設整備費 (うち安全かつ快適な道路交通環境の整備【交通規制課】)	3,852,642 903,373

2 危機や災害に備える

(1) 危機管理・防災体制の強化

P 7	一部新規 大規模警備(東京オリンピック等)のための装備・体制強化 【公安第一課】	132,490
-----	---	---------

警察官の増員

担当 警務課
警察本部内線 2 6 1 1

1 目 的

県民の生活に大きな不安と脅威を与える犯罪等の警察事象に的確に対処するため、警察官を増員し、安全で安心して暮らせるまちづくりのための活動体制の強化を図る。

2 事業の概要

警察官 6 4 人の増員（ 1 1 , 4 6 0 人 1 1 , 5 2 4 人）

3 予算額

1 5 3 , 0 6 8 千円

朝霞警察署庁舎建設費

担当 施設課
警察本部内線 2261

1 目的

耐震性が不足し、狭あい、老朽化が著しい警察署を移転改築することにより、来庁者サービスの向上及び警察活動の効率化を図る。

2 事業の概要

建設地

朝霞市栄町5丁目地内（税務大学校関東信越研修所跡地）

敷地面積 11,190㎡

施設の概要

鉄筋コンクリート造 4階建て

延べ床面積 約7,300㎡

建設スケジュール

- ・ 平成27年度 用地取得
- ・ 平成28年度 調査設計、既存施設解体
- ・ 平成29年度～31年度 建設工事

3 予算額

159,976千円

交番、駐在所建設費

担当 施設課
警察本部内線 2 2 6 1

1 目的

地域住民の安全と平穏を確保するため、地域に密着した警察活動の拠点となる交番、駐在所を計画的に整備し、治安体制の強化を図る。

2 事業の概要

交番 3 か所の改築

- ・ 草加警察署大曽根交番
- ・ 所沢警察署三ヶ島交番
- ・ 越谷警察署大相模交番（移転・越谷レイクタウン駅前交番（仮称））

駐在所 1 か所の改築

- ・ 秩父警察署尾田蒔駐在所

3 予算額

初度調弁費等		6,965千円
建設費（債務負担行為）	限度額	180,341千円

刑事警察費

担当 刑事総務課
警察本部内線 4011

1 目的

刑事警察の円滑な運営を図るため、捜査資機材等の整備及び各種捜査を支援するシステムの維持管理等により、時代に即した捜査力の強化を図る。

2 事業の概要

直轄警察犬指導士の育成

直轄警察犬制度導入に向け、警察犬を管理・運用する指導士を育成する。

捜査力強化資機材等の整備

客観証拠の確実な収集及び捜査の効率化に資する、よう撃捜査支援装置及び画像解析システムを整備するほか、取調べの可視化に対応するための設置型録音録画装置を整備する。

刑事捜査活動の支援

捜査活動を支援するため、各種捜査資機材、捜査支援システム等を適切に維持管理する。

3 予算額

1,258,804千円

運転免許証更新時の高齢者講習の受け入れ枠の拡大

担当 運転免許課
警察本部内線 702 - 211

1 目 的

高齢者講習の長期受講待ちの解消を図るため、公安委員会における高齢者講習の直接実施等により受け入れ枠を拡大する。

2 事業の概要

公安委員会における高齢者講習の実施

運転免許センターにおいて職員による高齢者講習を実施する。

自動車教習所に対する補助制度の導入

高齢者講習室の増設・借上げ及び高齢者講習受講者用駐車場の借上げに対し助成する。

高齢者講習に係る電話相談の充実

各教習所の空き状況や予約等の各種相談業務を行う。

3 予算額

66,194千円

安全かつ快適な道路交通環境の整備

担当 交通規制課
警察本部内線 5202

1 目的

高齢者の歩行者・自転車が関係する人身事故が交差点内で多数発生していることから、交差点内での事故防止対策として、信号機の歩車分離化やバリアフリー化を実施し、併せて信号灯器のLED化や横断歩道の補修をすることで安全な交差点環境を構築する。

2 事業の概要

信号機の歩車分離化

信号機の制御を歩行者と車両が通行する時間を分離する方式に改良し、歩行者と車両の交錯による交通事故を抑止する。

信号機のバリアフリー化

高齢者等が安心して横断することができるよう横断秒数を延長する高齢者等感応化等により、安全で快適な道路交通環境を整備する。

信号灯器のLED化

電球式の信号灯器をLED式の信号灯器に改良することで、視認性を向上させ信号灯器の見間違い等による交通事故を防止する。

横断歩道の補修

摩耗した横断歩道を補修し横断箇所を明確にすることで、横断歩行者の安全を確保する。

3 予算額

903,373千円

大規模警備（東京オリンピック等）のための装備・体制強化

担当 公安第一課
警察本部内線 5561

1 目的

平成32年に開催される東京オリンピック等の大規模イベントの競技会場となる県として、県民の危機管理意識の醸成を図り、官民一体となった対策を計画的に推進する。

2 事業の概要

官民合同訓練

官民一体となった危機管理体制を構築するために設立した「テロ対策「彩の国」ネットワーク」の事業者等との連携及びテロ対処能力の強化を図るための訓練を実施する。

テロ対策支援員による管理者対策

警察官OBを非常勤職員として採用し、爆発物の原料となり得る化学物質を販売する事業者との協力体制を構築する。

- ・ テロ対策支援員 5人（皆増）

テロ対策装備資機材の整備

テロ容疑事案発生時の事案判断及び被害の拡大防止措置を効率的に実施するための装備資機材を整備する。

直轄警察犬指導士の育成

爆発物を捜索する直轄警備犬を導入するため、警察犬を管理・運用する指導士を育成する。

3 予算額

132,490千円